



#こんなタイ知らなかった

体験で知るタイの魅力

タイ東北部、北イサーンの「サコンナコーン県とナコーンパノム県」を訪ねて

タイ国政府観光庁(TAT)は、タイ東北部の観光開発と観光客誘致の取り組みをここ数年にわたり継続し、最重要 destinations のひとつとしている。国土の約1/3を占めるタイ東北部は、北はメコン川を境にラオス、南から東はカンボジアを国境にして20県もの県が集中するエリア。タイ東北部全体はイサーンと呼ばれ、北イサーンと南イサーンに分けられる。今回はその中でも、まだまだ紹介されていない北イサーンのサコンナコーン県とナコーンパノム県を訪れた。訪れた5月18日は、タイ仏教の祝日ヴィサカブーチャ(仏誕節)にあたり、その行事に参加するなど、さまざまな体験をとうしてタイの魅力をレポートする。

【取材協力=タイ国政府観光庁 文・写真=長江喜代美】

サコンナコーン県

まず、北イサーンの事を知るなら、プーパーン博物館を最初に訪れたい。ここには北イサーンの歴史、文化、伝統が一目で分かるよう展示されているので、旅の最初に訪れておくとよいだろう。

アユタヤ王朝時代に建てられた歴史をある王宮守護寺院「プラ・タート・チュン・チュム」は4つの仏が祀られ、24mの白い仏塔が特徴的だ。

また、サコンナコーン県はイサーン地域もカトリックの中心地と呼ばれ、バンターレ村は、タイで一番大きい教会と言われる「St.MICHEL'S CATHEDRAL」があり、裏手にある「バンボーラン通り」は約110年前もの建物が残っており、まわりにはお洒落なカフェも多い。

#こんなタイ知らなかった



※この農業見学+クラム染め体験は日帰りコースとホームステイコースと2種類あり、ゲストのニーズによって様々なアレンジも可能。但し、2ヶ月前からの予約が必要だ。

#こんなタイ知らなかった



プータイ族の民族衣装を着て 伝統舞踊レッスン!

東北部の部族のひとつであるプータイ族。今回はプータイ族の衣装の着付け、メイクをして、写真撮影と舞踊レッスンに参加。先生による舞踊レッスンも本格的で、最後には、みんなである踊れるようになり全員で動画撮影。チームビルディングな要素もあり、一押し体験だ。人数が集まれば特別ツアーとしてアレンジ可能。

#こんなタイ知らなかった



農業見学と キッキング!

プーパーン市にあるバンナサイの村を訪れ、農業見学。お米、とうもろこし、お芋、果物、ハーブとさまざまな野菜を育てており、それを摘み取る様子を見学したり、実際に一緒に収穫したり、またそこで採れたものをその場でクッキングをしたり、イサーン地方の有名な料理「ソムタム」をチームになって作り、味わうのも楽しい時間だ。



お祭りに参加!

夕方から賑わうコムブア祭りは、各市や村のそれぞれ個性豊かな出し物で賑わいを見せる。タイ仏教の祝日ヴィサカブーチャ(仏誕節)*に当たった今回は、白の衣装(上下白または上は白、下が黒)で参加。夜にはプラ・タート・チュン・チュム寺院を参拝。訪れた参拝者全員寺院内を三周回る礼拝の儀式を実体験し、人々の熱気と祈る思いに万感の思いを馳せる。

*ヴィサカブーチャ(仏誕節)は陰暦の6月の満月の日で釈迦の誕生日。釈迦の誕生、大悟、入滅した仏教的に重要な意味のある日とされており、同日に起こった3つの奇跡への思いを馳せ、釈迦に徳に対して礼拝する儀式が行われている。

ナコーンパノム県

ナコーンパノム県はコラート台地に位置し、メコン川をはさまらオスと接する国境地帯。ベトナム戦争中、ラオス国内に築かれた北ベトナムの補給路「ホーチンルート」への米軍の攻撃から逃れてきたベトナム人の定住地域があるなど、ラオスやベトナムの影響を色濃く残している。

先端に黄金の飾りを持つ57の仏塔がこの地域のシンボルとなっている「プラ・タート・パノム寺院」は、紀元前535年頃の建築とされており、釈迦の肋骨を安置しているとも言われ、この寺院に対する地元の人々の信仰はあつい。また、レコナコーン区のタートレヌー寺院にはピンク色のプラターとレヌー仏塔がある。院内にはOTOP(タイ村一村一品運動)の商品が集まるマーケットもあり、タイの主要製品のお土産も購入できる。

#こんなタイ知らなかった



メコン川クルーズで 自然の美しさを体感!

通常のクルーズもあるが、おすすめはディナークルーズ。約1時間半かけてのディナーを楽しみながらメコン川をクルーズする。夕日が落ちる様からラオスの静かな夜景とナコーンパノムのランドマークといえる存在「ナーガー」が夜にライトアップされる様まで、ナコーンパノムで自然の美しさを体感できるアクティビティだ。

#こんなタイ知らなかった



身体に風を感じ、メコン川沿いをサイクリング!

最近、どの国でもサイクリングは体験アクティビティのひとつ。今回のようにメコン川沿いにあるカフェ「ベンブラーベン」でベトナム朝食をとり、その後サイクリング。メコン川沿いにはサイクリングコースが出来ており、旧県知事校舎記念館→St.アン教会→ナーガートンネルを通る。随所にインスタ映えする撮影スポットも多い。(料金は半日で約600バーツ/約2000円程度)

#こんなタイ知らなかった



ジャコウ猫の糞からできた コーヒーを飲む!

ジャコウ猫の糞から取出す貴重なコーヒー豆。ジャコウ猫は非常に珍しい猫で通常のコーヒー豆を食べさせ、約3か月後に消化されずに排泄されたコーヒー豆が美味で話題を呼んでいる。今回はコーヒー園でもあり、ジャコウ猫を飼育している「BLUE GOLD COFFEE」を訪れ、その後、コーヒーショップへ。1杯290バーツ(約1020円)。味はまろやかで上品な味。

食
GOURMET

タイ東北地方の食の魅力 北イサーンの食に参加者絶賛!

全体に唐辛子の辛みが強いのが特徴で料理に盛り合わせには野菜やハーブが多く、ハーブが入ったディップも美味。東北地方といえば地鶏を骨つきのままタレに漬け込み、焼いた「ガイ・ヤーン」や、熟していない青パパイヤを使った「ソムタム」が有名だが、サコンナコーン県で味わえる白いもち米の「カオ・ハーン」やナコーンパノム県でメコンオオナマズ「ブラー・ブク」や、魚の「ティラピア」のフライも美味しい。また、ベトナム発祥の料理も味わえるのも珍しく、朝などローカルな食堂で卵料理やフォーを食するのもいいだろう。



朝、托鉢の喜捨体験で 心あられる!

托鉢とは修行僧が鉢を持って街を歩き、生活に必要な最低限の食料等を乞う修行の事。今回は朝5時半に起きて、メコン川沿い歩く修行僧に喜捨した。喜捨は言葉どおり、見返りを求めず喜んで捨てる修行でもあると言われる。喜捨するものは基本何でもよい(お金を喜捨するのはあまり好ましくない)、観光客が体験するのであればホテルに頼むことも可能だ。